

脳外傷 リハビリテーション講習会



高次機能障害 ～よく見られる症状～

覚えられない 記憶障害 新しいことが覚えられない 忘れっぽいことに気づいていない 日付や場所がわからない 昔のことが思い出せない 	我慢ができない 欲求コントロール低下 いくらでも食べてしまう 先のことを考えずにお金を使う 待てない 	こだわりが強い 欲求コントロール低下 気持ちが切り替えられない 同じことをし続ける 1つのことを繰り返し言い続ける 	道具が使えない 失行 動作がぎこちない 思い通りに動けない 操作手順が分からなくなる 	見ているものが分からない 失認 見ているのに何かが分からない 知っている人の顔が見分けられない
どこが悪いかわからない 病識欠如 障害があることを理解できない なんでもできていると思っている 人の意見を聞かない 	気が散りやすい 注意障害 集中できない／うっかりミスが多い 持続性に欠ける 二つのことに気が配れない 	子供っぽくなった 依存症・退行 人に頼る 口先ばかりで行動が伴わない 家族に代弁を求める 	人間関係を作るのが苦手 対人機能拙劣 相手の気持ちを察することができない 他者の落ち度を過度に指摘する 一方的な主張をする 	片側を見落とす 半側空間無視 片側にあるものに気づかない 食事を食べ残す、人や物にぶつかる 文章の左側を見落とす など
自分は何もしようとしてない 自発性の低下 やる気がない 働きたがらない 何でも面倒に感じる 	行動にまとまりがない 遂行機能障害 計画が立てられない 優先順位が決められない 障取りが悪くテキパキ要領よく出来ない 行動の途中で混乱する 	ささいなことで怒り出す 感情コントロール低下 気分がムラがある 場にそぐわない泣き笑い 一度にいろいろなことがあるとパニックを起こす 	しゃべれない 失語 話すことや言葉の理解が難しい 書くことや読むことが難しい 	場所が分からない 地誌的障害 道に迷う 場所や方向など位置関係が分からない

出典：神奈川県リハビリテーション支援センター 平成18年3月発行(高次機能障害 相談支援の手引き ～支援の導入と障害の理解～)

高次脳機能障害をご存知ですか？

「高次脳機能障害」とは、脳が損傷されて、脳の精密な情報処理(高次脳機能)がうまくいかなかった状態のことです。

主な原因

- 脳の外傷(交通事故、転落事故、スポーツ中の転倒など)
- 脳の炎症、酸素不足など(脳炎、窒息や喘息発作、心肺停止などによる低酸素症、脳腫瘍など)
- 脳の血管が切れたり、詰まったりすること(脳出血、脳梗塞など)

交通事故や脳疾患による脳障害者が増えています。

後遺症を持った当事者が職場復帰、社会参加をするためには、リハビリテーションと周囲の方々の理解と支援が必要です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

「高次脳機能障害 一就労に向けて」

臨床心理士・公認心理師

日本高次脳機能障害者の会顧問 山口加代子氏

「～高次脳機能障害 軽度とは何か？ その障害像10年～」

文筆家 鈴木 大介氏

主催／函館脳外傷リハビリテーション講習会実行委員会 助成／一般社団法人 日本損害保険協会

後援／函館市・北海道渡島総合振興局 保健環境部保健行政室(北海道渡島保健所)・函館市社会福祉協議会・北海道社会福祉士会道南地区支部
北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部・北海道理学療法士会道南支部・北海道作業療法士会道南支部・北海道精神保健福祉士協会道南ブロック
北海道言語聴覚士会道南支部

お問い合わせ

脳外傷友の会コロポックル道南支部

〒040-0057 函館市入舟町6番17号 TEL 0138-22-6188 E-mail: kp_donan@msc.ncv.ne.jp

2025

11月8日 土

13:00開場 13:30開演
(16:00 終了予定)

参加無料【申し込み不要】

(お手伝いの必要な方は、事前にご連絡ください)

ところ 花びしホテル

函館市湯川町1丁目16番18号

